

9条変更はあり得ない！

「戦争しない」は国民と国際社会への約束

6月23日(日曜日)国際弁護士の西美友加さんを講師に迎えた「九条の会さかど19周年のつどい」に大勢の皆さんが参加しました。

歴史の中の法律、三権分立、9条の意味するもの、マッカーサー指令の原則、憲法前文の解釈、砂川判決、国連憲章上の原則、国際法上の自衛権、政府解釈の変遷、自民党改憲草案を、縦横無尽、ユーモアたっぷりに解説し、「戦争の回避は外交によつてのみ。9条は私たち国民の命、自由、人権を守る唯一無二の大切な規定。9条が国民と国際社会に約束したものを、閣議決定で変容させ、政権が削除を押し進めるのは、法の支配の下、許されることではない」と、憲法9条の趣旨に立ち返って話しました。



かつてないほど活発な質疑応答に、終わらせるのが惜まれるほどで、来年の「20周年」にも西弁護士をお迎えし、質疑応答をメインとした「つどい」とすることを拍手でもって約束しあいました。

西弁護士の今回の講演はYouTubeに載っています。九条の会さかどホームページからも移動できます。皆様、是非ご視聴ください。

西弁護士の今回の講演はYouTubeに載っています。九条の会さかどホームページからも移動できます。皆様、是非ご視聴ください。

西弁護士の今回の講演はYouTubeに載っています。九条の会さかどホームページからも移動できます。皆様、是非ご視聴ください。

19周年の感想から(1)

- ◆ 久しぶりに「憲法の話」を聞くことができました。憲法の歴史から始まって九条の文言、生まれた経緯、前文の話と、要点を話してくれました。途中、眠気が来ましたが、がんばって話を聞きました。

今回の話は、憲法の柱である憲法が生まれたのは戦前の軍国主義の猛反省の下に作られたものであることも確認ができました。国内はもちろん、アジアの人々も犠牲となった戦争でした。

戦前は天皇であった主権者。女性は参戦権がなかったこと。戦後は主権者が国民であること。このことはすごいことなのです。

戦後に当時の米国(マッカーサーを中心)と時の政府の下で作った日本国憲法です。自民党の政治家たちの「押し付け憲法」というこの言葉が、どうしても多くの方々に流れていってしまっている現状です。

映画や憲法制定時の文書記録では決してそうではないのですが、うまく反論できていないところが歯がゆいところです。個々のところをもっと詳しく聞きたかったです。(坂戸 大山嘉代子)

- ◆ 九条の会さかどが、こういう機会を作ってくれたことに感謝いたします。

西先生の話は、戦後の9条解釈史に照らして今日的意義をあらためて再認識させてもらいました。

今日6月23日に国会が閉会しましたが、自民党は閉会後も憲法審査会を継続して、憲法改正を条文化しようとしています。まさにこの日に西先生の講演があったのは意義深いイベントであったと思います。

特に国連の役割、そこへのアピールをすることが外交であるという認識が益々重要であると思います。その意味で、これからも西先生の知恵と力をお借りしたいと願います。

- ◆ 憲法9条は本当に大事であり、私は憲法は日本の「宝」だと思っています。

今の9条があるからこそ相手を殺し殺されることもないと思います。

しかし、今のロシア・ウクライナ、イスラエルがガザ攻撃をして戦争が長期化していますが、誰か止めることはできないでしょうか？ 国連の力も弱いのではと感じています。(滑川76歳)

坂戸の戦跡めぐり

日時 11月23日(土曜日)13時30分～16時
集合 坂戸市中央地域交流センター学級室A(解散も)
内容 陸軍の標石、弾薬庫や被爆アオギリ、ペトンなど、市役所周辺の陸軍坂戸飛行場の戦跡を歩きます

【9条バトンリレー(13)】 幸せであるということ

坂戸市 矢部麻美

みなさんは今、幸せですか？
わたしは今、とても幸せです。
なぜならば、家族がいる。
「おかえり」「ただいま」って言える場所がある。

仲間がいる。
わたしの話を聞いてくれる。
「がんばれ」って応援してくれる人がいる。

好きなものを好きなだけ食べることができる。
夢を語ることもできるし、
叶えるために行動することもできる。

命を狙われているわけではない。
そう考えてみると、わたしは今、
とても平和に豊かに生きているんだと思う。

わずか80年程前、日本で戦争が行われていた時代。
そのとき、
わたしと同じように家族や仲間といれることに幸せを
感じて生活していた人たちがたくさんいたのだと思う。

好きな食べ物があって、
読みたい本があったのだと思う。
夢や希望をもって生きていた人がいたのだと思う。

それなのに
国のために戦地に行かなくてはならない。
自分の愛する人や子どもを
戦地に送り出さなければならない。
食べるものに困り、
夢や希望を自由に表現することが許されない。
いつ死ぬかも殺されるかもわからない恐怖。

戦争により犠牲になったたくさんの方の命や思い。
終戦後、日本が元気を取り戻すまでに力を注いだ
たくさんの方の命や思い。
そして、願い。

今、わたしが平和な時代に生まれて
豊かさや幸せを感じながら過ごしているのは、
こうして多くの人の命をかけた行動、幸せと平和を願う
人たちの思いの継承によるものだと思う。

世界情勢がめまぐるしく変化している、今。
いつわたしたちが戦争に巻き込まれるかわからないと
いう不安はあるし、今後も憲法9条の在り方が問われる
ことがあると思う。

わたしたちができることはなんだろう。
わたしは、命をかけて戦った人々の思い、
幸せと平和を願った人々の思いを忘れずに、
継承し続けていくことなのではないかと思う。

子どもたちが大人になり、
次の世代に命を残そうとしたときにも、幸せで、
平和で、豊かな生活が続いていることを願って。

(次回のバトンは川越市の松原雅美さんに)

市民活動フェアに飛行場のジオラマ

3月に行なわれた「市民活動フェア」に、九条の会
さかども出展しました。



今回の目玉は、何と
言っても「陸軍坂戸飛
行場のジオラマ」。坂戸
中学校で制作され何故
か南小学校の社会科資
料室に保管されていた
経緯については追跡中
(求む!情報)ですが、
南小のご厚意により借

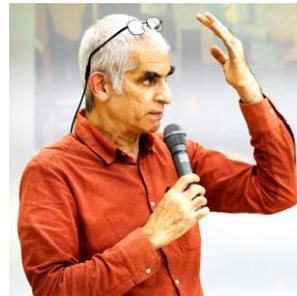
り受けることができました(ありがとうございました)
ブースの中央に巨大なジオラマがドーン。これは何
ですか?と質問が飛び交い、文字どおり「席を立つ暇
がない」状態でした。陸軍坂戸飛行場、坂戸市民にま
だまだ知られてないなあ。九条投票も全員「このまま」、
参加して良かったなあを今回も実感しました。

ただ、市民活動フェアへの出展は、これが最後です。
市民活動フェアに出展するためには半年以上前から平
日昼間に開催される実行委員会と前日の会場準備への
参加が必要ですが、参加できる人員の確保が難しく、
残念ながら今回で見合わせることになりました。

東松山九条の会総会&講演会ご参加を

東松山九条の会 高橋元文

イスラエルの人たちが周辺国の民間人への無差別殺
戮を何とも思っていないのか。どうすればやめさせる
ことができるのか。イスラエル軍で3年間兵役を務め
たダニー・ネフセタイにお聞きします。



ダニーさんは、埼玉県皆
野町で家具職人をしている
傍ら「世界情勢から平和を
考える」「外国人の目に映る
人権」「イスラエルの歴史と
今・そして日本」をテーマ
に日本各地で講演活動をし
ています。

武力で作れる平和はない

武力で国は守れない

【プロフィール】1957イスラエル生まれ。1975年イ
スラエル軍入隊、3年間兵役を務める。1979年退役
後アジアの旅に。10月来日。日本各地を旅し交流を
深める。その後、神奈川県家具会社に。

- 日時 11月16日(土曜日)13時(開場12時30分)
- 会場 松山市民活動センター大会議室
- 内容 第一部「講演」、第二部「総会」
- 主催 東松山九条の会
- 連絡 090-5408-2930(馬橋)

今後の運営委員会(会員なら誰でも参加できます)

10月28日、11月25日、12月23日(第4月曜日14時~16時)
会場は坂戸市役所に隣接した勤労女性センターロビー。